

エコアクション21

環境経営レポート

第 15 版



運用期間 2024年1月1日～2024年12月31日

2025年2月10日作成

有限会社クリンケア産業

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	2
当社の概要・認証登録範囲・・・・・・・・	3
環境経営取組体制図　責任と権限・・・・・・・・	4
許可の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	5
施設等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
収集運搬実績・・・・・・・・・・・・・・・・	7
環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・	8
環境経営目標の実施状況の評価と今後の活動・・・・・・・・	9～11
環境関連法規への違反、訴訟等の有無 代表者による全体評価と見直し・指示	12
改善活動の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	13

環境経営方針

〔基本理念〕

有限会社 クリンケア産業は、廃棄物収集運搬・営繕清掃業の事業活動と地球環境に与える負荷のバランスを認識し、より良い地球環境及び地域環境向上を目指すため、環境経営方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

〔基本方針〕

1. 事業活動に関する環境法規類及びその他の要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、環境経営の継続的改善に努めます。
3. 環境負荷を低減する為に、また地球環境を保全する為に次の活動を推進します。
 - (1) 省エネルギー活動として、燃料・電気使用量の削減に努めます。
 - (2) 省資源活動として、燃料、水の使用量の削減に努めます。
 - (3) 廃棄物の削減とリサイクルに努めます。
 - (4) 事業活動のサービスの環境配慮を通して地球環境の保全に貢献します。
 - (5) 化学物質を適切に管理します。
 - (6) グリーン購入に努めます。
4. 環境経営方針は、全従業員に周知し公開します。



制定2012年 11月 1日

改定2024年 1月 10日 (4版)

有限会社 クリンケア産業

代表取締役 松見 真一

1. 事業所の概要

(1) 事業所名

有限会社 クリンケア産業

代表取締役 松見 真一

(2) 所在地

本社 : 〒862-0967 熊本県熊本市南区流通団地2丁目10番地

車輛置場・有価物集荷場

熊本県熊本市南区近見4丁目618. 619-1・620-1・616-1・615・621-4

(3) 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、有価物売買、営繕清掃業

(4) 事業の規模

法人設立 平成12年12月1日

資本金 300万円



項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	284	329	282	304
社員数	人	14	14	34	30

(5) 会計年度

期首：1月 期末：12月

2. 認証登録範囲

登録組織名：有限会社クリンケア産業

認証番号：0009809

登録日：2013年12月27日

事業内容：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、有価物売買、営繕清掃業



3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

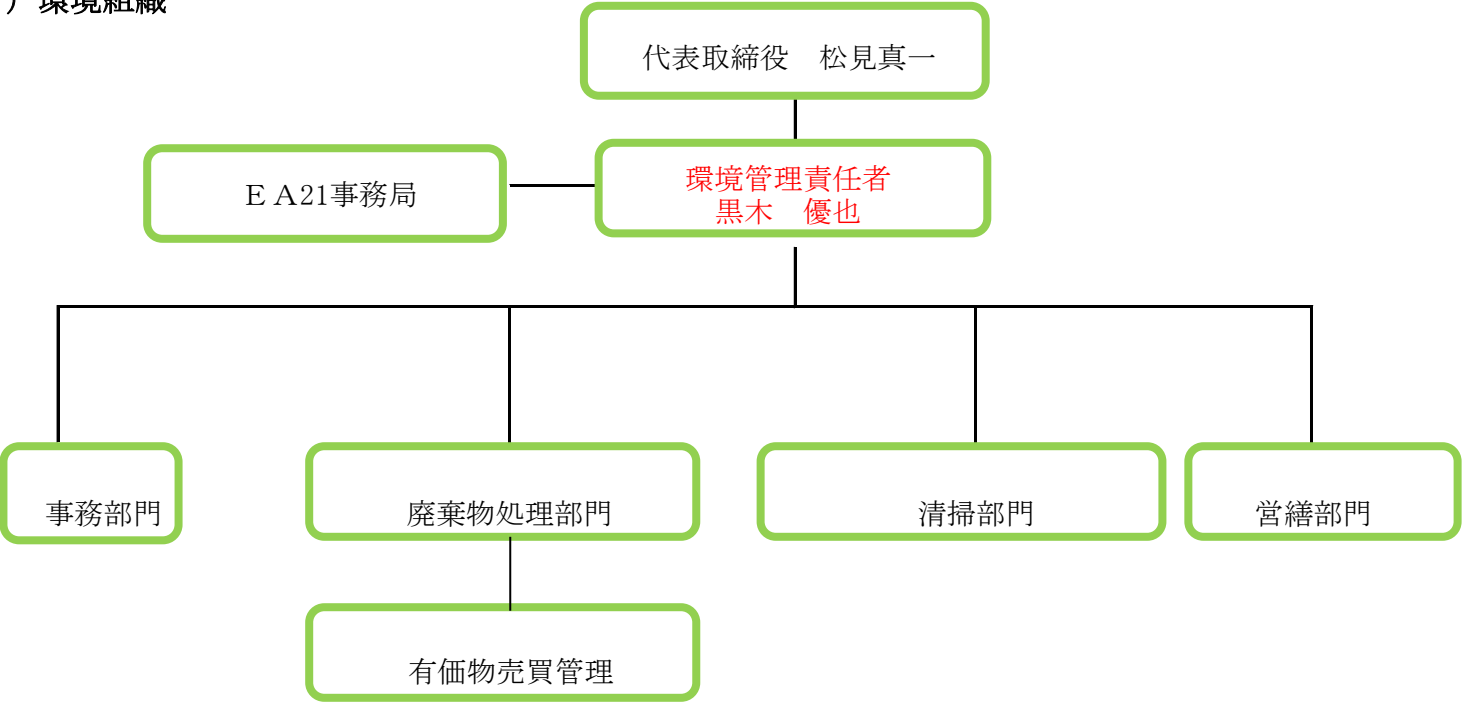
環境管理責任者：黒木 優也

連絡担当者：野住 麻美

TEL：096-379-7011 FAX：096-379-7022

4. 実施体制

1) 環境組織



2) 責任と権限

代表者	① 環境経営の最高責任者 ② 環境経営方針の制定、環境経営目標及び環境経営活動の承認 ③ 環境経営システムの評価、全般的な見直し・指示 ④ 環境経営計画の承認 ⑤ 環境管理責任者の任命 ⑥ 緊急事態発生時の判断 ⑦ 代表者の責任と権限事項について、環境への取り組みを適切に実行するために「資源」を用意する ※資源とは、いわゆる「人・もの・金」のことで、環境への取り組みを実施するための必要な人員、設備、費用等を適切に準備することです
環境管理責任者	① 環境経営システム全体の構築・運営の責任者 ② 環境経営システム実績等の代表者への報告 ③ 環境経営目標、環境経営活動及び環境経営計画書の確認、指示 ④ 環境経営目標、環境経営計画の進捗確認と修正の指示・実施 ⑤ 環境経営システムに関する問題の明確化と記録の総括 ⑥ 環境情報の外部への連絡 ⑦ 環境経営レポートの作成 ⑧ 教育と訓練の総括
事務局	① 環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進 ② 環境データの取りまとめ（集計） ③ 環境文書発行・管理の実務 ④ その他、EA21事務全般
社員	① 環境経営方針、目標の理解 ② 環境経営活動の理解と実施 ③ 環境法規制の遵守 ④ 緊急事態の予防策、対応策の実施 ⑤ 内部コミュニケーションの実施

5. 許可の内容

① 一般廃棄物収集運搬業 熊本市許可
許可番号 第21R-24号 積替保管行為を除く
許可の期限 令和5年4月1日～令和7年3月31日
許可業種及び許可品目（事業の範囲） 事業ゴミと臨時の家庭ごみ

②産業廃棄物収集運搬業（許可年月日：令和3年 8月 21日）

産業廃棄物収集運搬		許可を受けている産業廃棄物の事業範囲（種類）													
熊本県許可番号 第04301078608号 許可期限 積載保管【無】		燃え殻	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ
水銀使用製品		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		蛍光管等の取り扱い含む													

③特別管理産業廃棄物収集運搬業（許可年月日：令和5年 6月 19日）

特別管理産業廃棄物収集運搬	許可を受けている特別管理産業廃棄物の事業範囲							
	1	2	3	4	5	6	7	8
熊本県許可番号 第04351078608号 許可期限 令和 12年6月9日	廃油	廃酸	廃アルカリ	汚泥	ばいじん	燃え殻	廃石綿等	感染性産廃
積載保管 【無】	○	○	○	○	○	○	○	○

- 1、廃油
- (揮発油類、灯油類及び軽油類、特定有害産業廃棄物に限る。)
- 2、廃酸
- (水素イオン濃度指数 2， 0 以下のもの、有害なもの)
- 3、廃アルカリ
- (水素イオン濃度指数12, 5以上のもの)
- 4、汚泥
- (カドミウム又はその化合物又はその化合物を含む有害なもの)
- 5、ばいじん
- (カドミウム又はその化合物を含む有害なもの)
- 6、燃え殻
- (六価クローム、砒素又はその化合物を含む有害なもの)

※積替・保管はなし

6. 施設等の状況

車両の種類 合計30台

ダンプ	2台	塵芥車	14台	箱型（普通乗用車）	1台
キャブオーバ	4台	脱着装置付コンテナ専用車	5台		
清掃車（ダンパー車）	1台	バン	3台		



7. 産業廃棄物収集運搬実績（2024年1月～2024年12月）

種 類	合計重量(t)
ガラスコンクリート・陶磁器くず	32.78
木くず	31.05
汚泥	15.80
金属くず	6.76
紙くず	0.11
廃プラスチック	28.85
石膏ボード	9.62
蛍光管	0.49
混合廃棄物	59.14
がれき類	2.02
繊維くず	1.41
感染性廃棄物（特管）	0.94
合計重量	189
一般廃棄物（受託分）	6,074

8. 環境負荷の基準年実績と環境経営目標

番号		項目	基準年実績	環境経営目標				
1	3 すべての人に健康と福祉を	二酸化炭素排出量の削減	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
			201137 kg-CO2	2%削減197114 kg-CO2	2%削減197114 kg-CO2	3%削減 195102 kg-CO2	3%削減 195102 kg-CO2	
1-1	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	電気使用量の削減	15545kWh	1%削減 15390 kWh	2%削減 15234 kWh	3%削減 15079 kWh	3%削減 15079 kWh	
1-2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	ガソリン使用量の削減	7255L	1%削減 7182 L	2%削減 7110 L	3%削減 7037 L	3%削減 7037	
1-3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	軽油使用量の削減	68080L	1%削減 67399 L	2%削減 66718 L	3%削減 66038 L	3%削減 66038 L	
2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	有価物(再資源)仕入れ の推進	※2024年度から実施				1%増加189t	
			187t					
3	3 すべての人に健康と福祉を	自社の一般廃棄物排出量の削減	目標には設定せず、日常で管理					
4	6 安全な水とトイレを世界中に	水使用量の削減	278L	1%削減 275 L	2%削減 272 L	3%削減 270 L	3%削減 270 L	
5	8 働きがいも経済成長も	サービスに関する 環境配慮	顧客への分別啓発 7件/月	顧客への分別啓発 7件/月	顧客への分別啓発 7件/月	顧客への分別啓発 7件/月	顧客への分別啓発 7件/月	
6	6 安全な水とトイレを世界中に	化学物質の管理	法規制の遵守適切な管理					
7	11 住み続けられるまちづくりを	安全管理	車両置き場、有価物集荷場での事故防止、車両の誘導、車両点検					

※電気のCO2排出係数は、2018年度九州電力調整後排出係数0.347kg-CO2/kWhを使用した。

※一般廃棄物は排出量も少ない為に目標には設定せず、日常で管理していきます。

9. 環境経営目標の実績

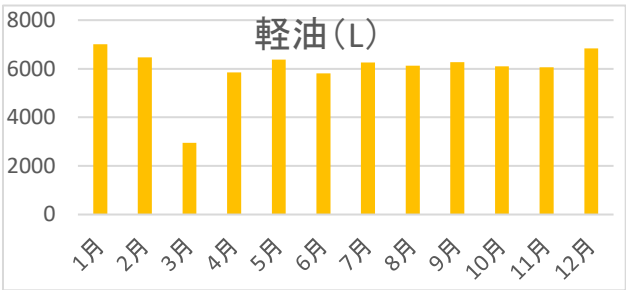
有用期間: 2024年1月1日～2024年12月

項目	環境目標値	運用期間実績	達成度
二酸化炭素排出量	195102 kg-CO ₂	206213 kg-CO ₂	95%
電気使用量	15079 kWh	13789 kWh	109%
ガソリン使用量	7037 L	6388 L	110%
軽油使用量	66038 L	72141 L	92%
有価物	2024年から実施	187t	100%
水使用量	270 L	200 L	135%
サービスの環境配慮	顧客への分別 啓 発 1件/月	顧客への分別 啓発 1件/月	100%
グリーン購入	推進する	推進する	100%
化学物質の適切な管理	適切な管理状況 確認 1回/週	適切な管理状況 確認 1回/週	100%
安全管理	実施毎月1回	実施毎月1回	100%
地域貢献(地域清掃等)	清掃2回/年	清掃2回/年	100%

10. 環境経営計画の実施状況の評価と今後の活動

数値目標:○達成 ×未達成
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

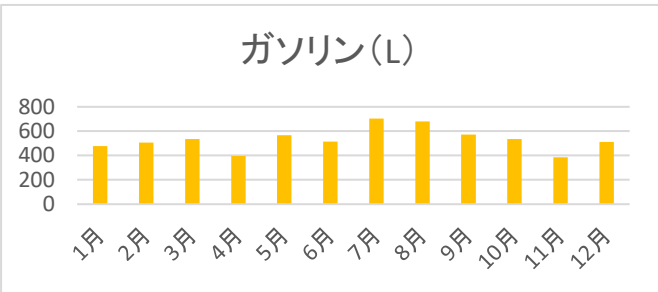
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	評価と今後の活動
数値目標	○	(評価) 昨年より常用する作業車は減ったが、多方面からの業務依頼が増え汚泥処分で遠方までの移動が増えた為、使用量は横ばいになった。 (今後の活動) 来年は今年を基準にした目標設定をし、自動車燃料の使用量削減に全従業員で取り組んでいく。
アイドリングストップの推進	○	
経済運転の推進(急発進・急停止の禁止)	○	
法定速度の遵守	○	
車両点検の実施	○	



取組紹介欄

- ・エコドライブの徹底に取り組んでいる。
- ・効率的に回収を行えるように業務計画を立てている。
- ・車両点検を随時行っている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	7003.5	6469.6	2948.6	5855.6	6378	5815.9	6261.8	6130.62	6267.1	6103.5	6063.8	6843.3

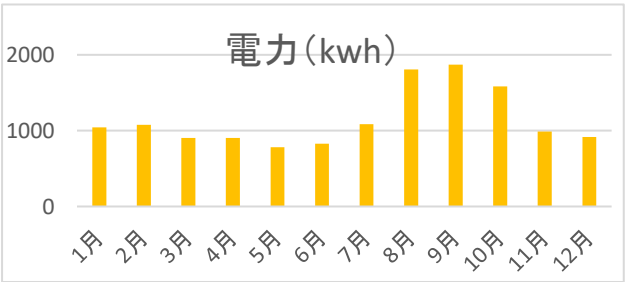


取組紹介欄

- ・アイドリングストップの徹底に取り組んでいる。
- ・車両点検を随時行っている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	478.16	505.5	536.18	396.61	567.64	514.73	703.78	680.42	571.88	534.97	386.52	512.32

電力による二酸化炭素削減	達成状況	評価と今後の活動
数値目標	○	(評価) 10月までは電気使用量の目標を達成出来た。10月からは集荷場で自販機を設置した為、使用量の増加に繋がった。 (今後の活動) 来年は今年を基準にした目標設定をし、使用量削減に繋がるように無駄な使用を無くしたい。
駐車場休憩室使用时以外消灯	○	
使用时以外のトイレ、会議室の消灯	○	
空調温度の適正化(冷房26度・暖房24度)	△	
OA機器・計量機の退社時の電源OFF	○	



取組紹介欄

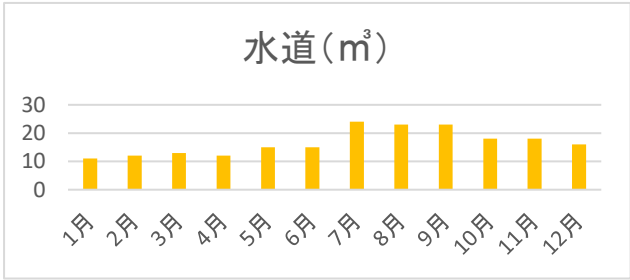
- ・不必要な電気はこまめに消している。
- ・室内温度の状況をみてエアコンの電源オフに努めている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	1042	1079	902	905	783	826	1085	1808	1869	1583	990	917

水使用量削減	達成状況	評価と今後の活動
数値目標	○	(評価)8月に事務所を移転し、在社人数が増えた為水の使用量が増えた。 (今後の活動)来年は今年を基準にした目標設定をし、使用量削減に繋がるように無駄な使用を無くしたい。
水使用量の把握	○	
生活水の節水の推進	○	
洗車時の工夫による節水の推進	△	
水系への環境負荷物質の漏洩防止	○	

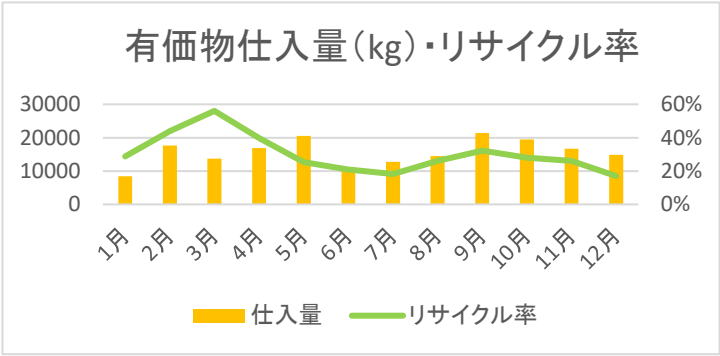
取組紹介欄

- ・生活水はこまめに止め、節水に努めている。
- ・洗車時はバケツを使用し無駄な水を使用しないようにしている。
- ・グリストラップの清掃を定期的に行い、適切に管理している。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	11	12	13	12	15	15	24	23	23	18	18	16

有価物仕入量・リサイクル率の向上	達成状況	評価と今後の活動
数値目標	○	(評価)今年から仕入量、リサイクル率の向上のために仕入量の把握に取り組んだ。有価物分別の徹底、適切な管理により現状を把握することが出来た。ホームページで有価物の単価の案内をしており、徐々に仕入量も増えていると思う。 (今後の活動)引き続き仕入量、リサイクル率向上のために全社員で分別に取り組んでいく。
有価物の分別	○	
リサイクル、再資源化の推進	○	
有価物置場の適切な管理	○	
リサイクル先の開拓	○	



取組紹介欄

- ・有価物分別の徹底に努めている。

2024年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
仕入量	8422	17623	13701	16889	20515	11130	12777	14486	21363	19460	16645	14844
リサイクル率	29%	44%	56%	40%	25%	21%	18%	26%	32%	28%	26%	17%

自社の一般廃棄物削減	達成状況	評価と今後の活動
ごみの分別	○	(評価)ごみの分別を徹底し、印刷用紙は裏紙を使用するように努めている。 社員一人一人が意識を持って環境に配慮した活動を行っている。 (今後の活動)来年度も自社の一般廃棄物削減に取り組んでいく。
シュレッダー、廃紙のリサイクル化	○	
印刷部の削減	○	
エコバックの活用	○	

サービスの環境配慮	達成状況	評価と今後の活動
顧客とのコミュニケーション確保 (苦情、要望の適正処理)記録	○	(評価)回収作業で朝礼に間に合わない社員がいる為、10月から毎週水曜日から月曜日に変更した。全社員が朝礼に参加出来る様になり、情報共有も出来ている。 (今後の活動)社員の意識も向上しているので、引き続き集客に繋がるようなサービスの環境配慮に取り組んでいく。
顧客へのリサイクル分別の提言	○	

化学物質管理	達成状況	評価と今後の活動
在庫管理の実施	○	(評価)県内小中学校のトイレ清掃業務があり、尿石除去用洗浄薬(塩酸)を購入した。在庫を確認し、管理場所については施錠、薬剤が入っている旨の張り紙をした。 (今後の活動)引き続き在庫管理の徹底、保管場所の適切な管理に取り組んでいく。
環境法規の実施	○	

安全管理	達成状況	評価と今後の活動
車両置き場・有価物集荷場での車両の誘導	○	(評価)場内のアスファルト舗装を9月に、有価物保管倉庫の屋根設置を8月に実施した。車両の誘導や場内整備も随時実施している。 (今後の活動)来年度も事故のないように安全管理に取り組んでいく。
駐車場整備 (特に釘・ビス拾い・飛散物拾い)	○	

地域貢献	達成状況	評価と今後の活動
地域清掃の実施	○	(評価)有価物集荷場廻りの除草を5月に、近隣の除草及び清掃を9月に実施した。 (今後の活動)来年度も地域清掃に取り組んでいく。

12. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

遵守評価は環境法規制登録表で実施しています。

対象法規類

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 廃棄物処理法 | 2. フロン排出抑制法 | 3. 自動車リサイクル法 |
| 4. 家電リサイクル法 | 5. PCリサイクル法 | 6. 消防法 |
| 7. 労働安全衛生法 | 8. 毒物及び劇物取締法 | 9. 水銀に関する水俣条約 |
| 10. 水質汚濁防止法 | | |

遵守評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、訴訟や関係当局からの指摘や行政指導は、過去3年間ありません。

外部からの苦情・意見には適切に対応しています。

13. 代表者による全体評価と見直し・指示

本年は熊本市の委託業務の更新時期にあたり一般競争入札では希望価格の落札ができ、業務の安定化に繋がった。買取場内・有価物保管倉庫設置等の整備や整理整頓が進み働きやすい環境になってきた。一部車両の入れ替えもあり、更に業務効率も上がった。社員教育においても服務規程の徹底を行い、特に新入社員には入社時に時間を取り服務規程の重要性と担当者による業務の安全管理を含む教育を実施した。今後はさらなる新規事業や業務改善を図るため新入社員の積極的採用を図っていく。

見直し結果

項 目	見直し結果
環境経営方針	継続していく。
環境経営目標、環境活動	四半期毎に見直しを行いながら継続していく。
実施体制	その都度、役割・能力に応じて変更し継続していく。
その他の仕組み、取組	必要な限り改善、継続していく。

2025年1月10日
代表取締役 松見真一

改善活動の紹介・安全講習

6月 場内のアスファルト舗装



8月 有価物保管倉庫屋根設置



9月 場内での事故防止の安全講習・美化活動

